



発行
一宮市児童育成連絡協議会

事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

令和5年11月15日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>



▲「新ボールリレー」落とさないように...

ぼくは6月3日に、子ども交流会に参加しました。この交流会でやったゲーム演習はインディアン、方向音痴、セーのであつまれ(1回目)、木の中のリス、紅白めくり、セーのであつまれ(2回目)、人間知恵の輪、新ボールリレーの8つのゲームをやりました。

ぼくはこのゲームをやった中で特に楽しかったのが、一番最後にやった、ランキングをきそう新ボールリレーです。新ボ

千秋町連区 町屋子ども会

六年 鷲見 一乃

子ども交流会



前までは、コロナとかで、色々できなかったゲームができるようになって楽しく、この交流会に参加できて、すごく楽しかったです。

ルリレーは、くじでボールを支える道具を引いて、出た道具で、前に走ってまたもどってくるというので、自分のチームは1回だけ3位をとったけど、2回連ぞく1位というところがあったのですごいなあと思いました。



▲思い切り体を動かそう!



▲「木の中のリス」今度は何かな?

私は、6月3日に子ども交流会に参加しました。インディアンや木の中のリス、人間知恵の輪などの8種類のゲームで遊びました。

私が特に楽しかったのは、木の中のリスというゲームです。3人組をつくって、その中で2人が「木」になり、両手をつないで輪をつくりまわす。残りの1人が「リス」になり、輪の中に入ります。「オオカミが来たぞ!!」と言われたらリスが、「木こりが来たぞ!!」と言われたら木が別の所に行き、「嵐が来たぞ!!」と言われたら全員がバラバラになります。私は最初リスをやりました。空いている木の

小信中島連区 ニッ屋南子ども会
六年 岩田 優花



も、小さい子たちと一緒に今日やったようなゲームができたらいいなと思いました。参加できてよかったです。

中にもぐりこんだり、嵐が来て全員がバラバラになり、初めて会った人と一緒に木をつくったのが楽しかったです。

他にも、楽しいゲームをたくさんしました。道具がなくても、たくさんの人とこんな楽しいゲームができるんだなとおどろきました。自分の子ども会でも、小さい子たちと一緒に今日



▲集まっちゃった

スポーツ大会

貴船連区 両郷寺連合子ども会

五年 柴田 悠箕

9月24日の日曜日に、スタッキング大会が行われました。ぼくは初めて参加するのですが、くは初めて参加するのですごくさんちようしました。

スタッキングのルールは9個のカップを決められた形に積み上げたり崩したりして、そのスピードを競うゲームです。まず練習の前にルールの説明を聞きました。本番は3回チャレンジすることができてその中で一番早かったタイムを報告して順位が決まります。今回の参加者人数は16名いて、そのうち上位3名には賞品がもらえます。説明を聞いてから20分間練習する事ができました。練習のときはなかなか積み上げる事ができなくてカップを落としてしまったり、



▲ 成功なるか？

やり方をまちがえたりして上手くできませんでした。だけど友達が一緒だったから失敗しても乗りこえる事ができました。本番が始まり、ぼくはあせって2回失敗してしまいました。でも最後は成功したので良かったです。賞品はもらえなかったけれど、とても楽しかったです。来年はぜひ

たいに上位に入れようがんばりたいと思います。



開明連区 高野島なかよし子ども会

六年 伊藤 なつ

6月11日の日曜日にスポーツ大会を行いました。コロナの影響もあり、地域で集まる行事が少なくなっていたので楽しめました。雨で1つできなくなりましたが、3つのゲームを行いました。そのうち「ラダーゲッター」というゲームはチー



▲ 「ラダーゲッター」

ムにわかれて得点をきそい合いました。得点発表の時はみんなが優勝しました。うれしかったです。同学年の子や学年が近い子といっしょにゲームをしたり協力して点をとったり仲を深めることができました。アドバイスをしあったりして気が付くと全員が笑顔でゲームをすることができました。私も笑顔になれたので参加してよかったです。私は今年が最後でしたが、来年以降もみんなが協力して、楽しんでもらえるといいなと思います。



▲ チームで得点を競う

大和町連区 南高井子ども会

六年 平出 葵



▲ ドッチビー大会 試合数も増えています

6月18日の日曜日に、ドッチビー大会が行われました。今年は大和南小学校区の9チームが3ブロックに分かれて、対戦しました。昨年と違って試合数が2試合に増え、とても嬉しかったです。私は、昨年の試合に一度出たことがあるので、あまり緊張しませんでした。試合本番になると、少し緊張しました。

試合中、他のチームがラインをふんでしまい、ファウルになっていたので、私たちのチームはラインに気を付けて試合をしました。



▲ 試合も応援も頑張れー!!

私は、無理に取りにいつて当たってしまったように、一生けん命逃げました。それでも、1試合目の試合終了直前に当たってしまいました。だから、2試合目の時にはとても頑張り、当たらず逃げ切りました。自分の試合の時に応援をしてもらうと、頑張ろうと思うし、とても嬉しい気持ちになりました。だから、他のチームの試合の時、頑張ってみんなの応援をしました。

この日はとても暑かったので疲れましたが、楽しく試合をすることができました。



「宮市ジュニアリーダークラブ」



高校三年 坂田 朱音

私はこの研修を通して、二つ大切なことを学びました。

一つ目は、協力することです。

この研修は班のみんなで意見を出し合い、考える企画が多くありました。特に印象に残った企画は、班旗づくりです。この企画は時間内に班名を考え、旗にイラストを描くというものでした。その際私の班では、みんなで役割分担をして協力したことで時間に余裕を持って作り終えることが出来ました。



▲ ジュニアリーダー研修大会

二つ目は、周りをみて行動することです。班活動で、まだなじみ切れておらず意見をうまく

言えない子に私から話を振ってあげ、班全員がなじめるようサポートしました。そのこともあり、2日目からの班活動では、たくさん交流することが出来ました。他にも様々なことを学ぶことが出来ました。

私は高校三年生なのでこの研修に参加できるのは最後でしたが、この場で学んだことを一宮市での子ども会活動などで活かしていけるように頑張っていきたいと考えています。



中学三年 本田 瑠菜

私は資格認定に参加してよかった、と思いました。なぜならジュニアリーダーと子ども会の関係や、ジュニアリーダーの心がまえ、レクリエーションのすすめ方などを講師の方々に丁寧

に教えていただき、とても参考になったからです。

そして、この資格認定でたくさんの方の友達をつくる事ができたのが、なによりうれしかったです。

3日間の講習や軽スポーツ、ゲームなどとおして仲良くなることが出来ました。

最初はとても不安でしたが、講師やスタッフの方々のおかげですとても楽しい3日間となりました。本当に感謝しています。

この資格認定で学んだことを、これからの子ども会活動だけでなく社会に出ても忘れず生かしていきたいと思います。



▲ 実のある経験でした

大学一年 松下 愛

愛知県子ども会連絡協議会が主催の資格認定講習会は新型コロナウイルスの影響もあり、4年ぶりに実施されました。私は

中2で初級の講習会を受け、中1から高3までジュニアとしてボランティア活動をする中で多くのことを学ばせていただきました。そのため、高校を卒業しジュニアリーダーとして活動していくにあたり、今回参加した中級では、リードしていく、支えていく立場としての理論や技能について学びました。

理論としては、子ども会の特徴と意義について、新しい子ども会の在り方を考える、問題点を見つけた際の解決策やアドバイスの工夫について意見交換を通して学びました。

技能としては、自地区のお祭りを発表し共有する、初級の子が参加するキャンプファイヤーの会を実際に企画、準備をする中で、どのようにすると目的を持ち安全に進めることができるのか、楽しんでもらえるのかを考えました。

3日間、さまざまな経験を通して、多くの人との関わりを通して楽しく学ばせていただきました。また、講習会で学んだことを活かし、これからのジュニアをシニアとして支えられるよう活動していきたいです。



▲ 楽しむ、伝える

高校一年 後藤 莉木

私は3日間、全子連認定ジュニアリーダー資格認定講習会に参加しました。コロナウイルスの影響で4年間中止になっていたのが初めて参加できました。

スケジュールが分刻みで詰まっていたので普段の学校の生活よりも厳しそうに感じて不安でした。しかし、講師の方々の話が面白くて、分かりやすく、すぐに不安がなくなりました。特に印象に残っているのは「まず自分が楽しむことが大事」ということです。子どもたちにゲームを楽しんでもらうために、まず、私自身が楽しみ、その「楽しさ」を子どもたちに伝えられるようになります。この3日間で、ジュニアリーダーとして大切なことを多く学びました。この貴重な経験を今後、派遣などで活かして盛り上げていきたいと思っています。



▲ジュニアリーダーのみなさん

私は、全子連認定ジュニアリーダー資格認定講習会を受けて、ジュニアリーダーの良さをたくさん知ることができました。一回一回の講義の中で講師の方が何を一番伝えたいのか、私が一番理解すべきことはどのようなことを考えながら講義を受けることができました。講習会で一番楽しかったことは、野外活動です。今回は一人一つ飯ごうを炊く課題が出ていました。私はキャンプ経験が浅く、飯ごうを一人で全てこなせるのか、とても不安でした。しかし、多少の失敗はありながらも分らないことは、ジュニアの子や講師の方々に聞きながら、不安から楽しいにだんだん切り替わって、自分にとって凄くいい経験

になったと思います。今回の研修を通して、ジュニアとして成長することができました。



一宮市児童育成連絡協議会
副会長 牧野 郁子

6月24日(土)、愛西市の親水公園総合体育館にて開催された地域子ども会育成者研修会に参加させて頂きました。研修会は、西尾張地区子ども会連絡協議会会長土屋寛氏の開講式の挨拶に始まり、体験会として『コーデイナーシヨントレーニング』を『運動遊び』として巧みに取り入れた講習プログラムを、楽しく体験させて頂きました。目や耳からの情報を脳で素早く処理して、身体全体の動作・態勢づくりの調整力を鍛える事で、6つの能力(リズム・バランス・返還・反応・連結・定位)が鍛えられ運動神経が向上し、時間・空間・仲間を意識出来る様になる様です。遊びで頻回に登場するジャンケンには、一人単



▲「遊び」の効用は素晴らしい

独では、基本動作の確認と準備。二人以上の複数では、コミュニケーションが生まれ、勝負やルール、時間・空間・仲間、その組合せで行動が変わる事で、会話や身振り手振り表現豊かな行動の遊びになる事等を学びました。加えて、身近な道具を使い、色・数・大小・等の情報を変え、点数ルールを加えて面白くなる事で、勝敗より仲間を意識出来る様になっている事も体感出来ました。

質問会では「子どもの感情が治まらない時は？」との質問に、手を繋いで進行を続けたり、並んで寄り添ったり、今の子どもの性格に合わせた配慮法もありました。

動きやすい身体と自分の身体を思い通りに動かせる様になる『運動遊び』の効用が、私たち

育成会・子ども会が大切にして来た『異年齢』『仲間集団』で楽しく仲よく遊ぶ活動の中で、自然体で育まれ、コミュニケーション力が豊かになり、生涯を通じて心身の健康の基礎・源になる事を再認識した研修会でした。

一宮市児童育成連絡協議会
専門副委員長 井藤 紀代美

6月24日(土) 愛西市親水公園総合体育館メインアリーナで開催された西尾張ブロック地域子ども会育成者研修会に参加しました。

共通全体テーマ『子どもの手による子ども会』のもと、ライフタイムスポーツデザイン研究所 佐藤英紀様よりアイスブレイク・リズムジャンケン・身体と心をほぐすについてご指導いただきました。

はじめは、みんなやる気できているのに動かない...

でも、リズムジャンケンを行っていくうちに楽しく、中에서도子ども達は慣れるのも早く見本を出来るまでになっていき、グループ遊びでは、他の地域の人に交じりながらジャンケン遊びをするところまで動けるように！

地域対抗戦では、参加している人数はいたのですが、年齢的に厳しくハンディをもらわないと子ども達と同じようにはいけません...

やはり、子ども達は頭も柔らかく考えながらポイントを増やす方法などすぐに気がついて実践していました。

様々な制約がある時代から徐々に子ども会活動も変化していく時代でも参加者が楽しめる事業を行うためにとても参考となり有意義な時間を過ごすことができました。



▲子ども達にはかないません



河辺 三代・大窪 文子
奥田 純子・赤野 ルミ子
加藤 真弓